

資料 2

温泉法の運用に関するデジタル技術活用方策に係る基礎資料についての論点

2. 温泉法におけるアナログ規制に係る検討課題

- ① 表 1 における、「温泉の成分等の掲示、登録分析機関の標識、登録分析機関登録簿の閲覧」見直しの方向性の表現は問題ないか。（基礎資料 6 ページ）

3. 温泉法の運用に関するデジタル技術活用方策

検討課題 1 温泉掘削時及び湧出路の洗浄時における可燃性天然ガスの噴出の兆候の有無の目視点検について

- ① 監視カメラで撮影すべき場所や、それぞれの場所において求められる性能はどのようなものか。また、監視カメラで撮影すべき対象のうち、温泉井戸掘削現場で掘削中に確認する計器にはどのようなものがあるか。（基礎資料 14 ページ）
- ② 防爆仕様については、安全増防爆や耐圧防爆といった考え方があるようだが、防爆仕様の機種であれば、基本的に防水・防塵対策が施されていると考えてよいか。（基礎資料 14 ページ）
- ③ マッドロギングシステムを導入すべき具体例の記載について問題はないか。（基礎資料 16-17 ページ）

検討課題 2 ガス分離設備の内部の水位計及び可燃性天然ガス発生設備の異常の有無の目視点検について

- ① 異常の有無の点検に当たり、画像比較が有効となる設備はどのようなものか。（基礎資料 19 ページ）
- ② 画像比較を行う場合、画像撮影時に注意すべき点や、条件などはどのようなものか（基礎資料 22 ページ）

- ③ 各種センサーの保守点検についての記載は問題ないか(基礎資料 22 ページ)

検討課題 3 屋内に設置された温泉井戸及びガス換気設備の異常の有無の目視点検について

- ① 換気設備に供給される電流値の変化から異常を検知する方法の記載は適切か(基礎資料 25 ページ)
- ② 換気設備の配電盤に警報回路を設置する場合の雰囲気温度対策や配電盤の設計変更等の記載は問題ないか(基礎資料 25 ページ)
- ③ 警報回路の設置場所や作動確認についての記載は問題ないか(基礎資料 26 ページ)
- ④ 過電流を検知するためのリレースイッチや電気部品が電気ノイズや雰囲気温度の上昇で誤作動した事例はないか(基礎資料 26 ページ)

検討課題 6 都道府県による掘削工事の場所、温泉の採取の場所又は温泉利用施設への立入検査について

- ① 座標測量について、国土交通省が無料で提供する『測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス』を利用する価値はあるか(基礎資料 36 ページ、参考資料 2)

4. まとめ

- ① 将来的な期待として、AI を利用したデータ解析の導入可能性まで言及したが、AI だけでなく、他に考えられるデジタル技術はないか(基礎資料 46 ページ)
- ② デジタル技術の活用推進にあたっての全般的な障壁についての記載には問題がないか(基礎資料 46 ページ)